



JR東労組の団結を確固たるものにして、職場のたたかいを通じて組織強化・拡大を実現しよう！

主催者あいさつ(要旨) 中央執行委員長 佐藤 英樹

23春闘を仲間と共にたたかおう

JR東労組は、JR総連春闘方針に基づき、要求実現に向けて、統一要求・統一闘争でたたかっています。私たちは年末手当の低額回答を受けて、100以上の機関から抗議声明を発表し、緊急申し入れを行ったにもかかわらず、「業績が好調の際は『突出感』、業績が悪ければ『元の動向』、業績が回復基調になれば『好循環』」さらには「持続的な成長に『好循環』」この経営スタンスを突破することはありません。この現実を突破するのは、私たちの組織力でしかありません。23春闘勝利に向けて組織拡大と要求実現の両輪でたたかっています。

すでに会社は、労働組合との団体交渉が始まる前に、意図的に社友会と意見交換をおこなっています。ある支社の社友会は、「他企業に比べて仕環境や手当が充実している。社友も駅近で嬉しい」とも言っており、「収入が上がらずに住宅ローンを組むことが躊躇している。社友の利用制限を廃止してほしい」という組合員の声を打ち消して、あたかも多くの社員の声であるかのように描き出しています。未加入者さん

ケートでは、会社回答や職場の努力に報いていない経営姿勢であることを明らかにしてまいりました。社友会の本質的な役割を明確にして、社内世論を突破するために、たたかっています。

岸田首相や経団連は、構造的な賃上げと言いつつも、私たちが「労働者とは『賃金』とは」といって議論しながら組織力を高めてまいりました。そして、JR東労組への結果を呼びかけようではありませんか。生活の労働実感や実態を、組合員を取り巻く現状なども議論しながら、自らの要求として一人ひとりがたたかう姿勢を確立しましょう。もたらえるだけありがたい「ハラスメント」がまかり通る会社にはなりません。バス関東本部、バス東北本部、スアーションサービス協議会、運輸サービス協議会の仲間のみならずと連携を強化し、JR総連に結果する仲間との連携・共闘をしっかりとJR総連春闘をたたかいていきます。

横浜支社は団体交渉で「企業人として、社友人としてしっかりと」を連呼し、現場で行われている懲罰的日動教育を全面支持しました。当該組合員がハラスメントを訴えても、黙ってこたえた適正指導の範囲と述べるところはハラスメントの正当化であり、断じて許すことはできません。乗務復帰に向けて共にたたかい、みんなを支え、自給まで追いつく日動教育を適正と評価する社友会姿勢に対して断固たたくところではありません。

そして、職場で発生している事故や安全問題から現実や原因を掘り出し、JR東日本が安全が危機的状況であることを訴え、自らの問題として、責任追及ではなく原因究明のたたかいを通じて、安全哲学を再確立しようではありませんか。

論みながら当該組合員に対して日動教育を行っていたことが明らかになりました。分会の抗議や横浜地本が申し入れを提出したところによって、会社・現場管理者は突如態度を変え、パワポイントを作成させてプレゼンテーションを行ったことをもって乗務復帰させて日動教育の幕引きを図ろうとしました。

換えました。自衛隊が海を越えて攻撃できる装備を持てば、世界どこから見ても日本は戦争する意思があると思われるのは当然のことです。兵器を大量に備えるということは、憲法9条が禁じる「武力による威嚇」に他なりません。憲法9条を守り、あらゆる戦争政策反対、鉄道の軍事利用に反対します。

人口減少社会、高齢化社会、待たない状況ですが、同時に地方の衰退や都市部への人口流出など、多くの課題が潜んでいます。地方ローカル線問題は、様々な場面に足を運び、実践しなければ現実を切り拓くことはできません。政府や鉄道事業者だけの都合ではなく、「地域の生活を支える鉄道や公共交通の役割」「私たちの雇用や生活をいかに守っていくのか」、地域、自治体、議員のみならずとも交流・連携を深めながら「地方ローカル線に対する3点の基本姿勢」に踏まえて、たたかいを継続しましょう。

地方ローカル線問題について
考え行動しよう

原因究明を行い、安全哲学を再確立しよう

国府津運転区分会で発生している「懲罰的日動教育」は、会社・現場管理者が「会社を目指す方向性は真逆の人間、会社を好きになつて」などの事象(は関係のない言葉に象徴されるように、意識転換、さらにはJR東労組を脱退させることを目的

的説明のつかない要員減・盛岡営業統括センターが発足。盛岡駅の作業メイヤ変更は、職場現実から大きく乖離。要員削減の超前提な作業メイヤで体調不良を訴える社員も出る。分業では、私たちの望む作業メイヤへの対応を拒絶し、職場をつぶすこと、未加入者の議論を重ねた。その結果、会社の意見集約に未加入者も含めて本書で書きこんだことにより、2か月で改善を実現。■幕張車では、推進運転の入れ替えがメイヤで通勤。定期的に行われてきた推進運転の訓練が行われていない。事故前からの推進運転の訓練を行ってきた。今回の事故を受けて、この訓練・メンテナンスフリーが増す中、車両を減らすことが減り、不慣れた人が増加。随時事故が発生。予測されるトラブルへの教育訓練をすすめた。■京葉車での感電については、工務部が原因究明を行ったが、車内構内が外注化されJRでは構内を把握していないことが分かった。修繕に関する、壊れていなければ修繕の機会が減るために、いざ故障すると対応が困難、教育訓練がされる仕組みが必要だ。6月には首都圏本部へ移管。私たちが安全協議会を積み重ねることが重要。■新小平駅構内でのスラブ軌道締結装置不良は本来なら列車を止めるべき。事故の1週間前でも異常なレベル、原因特定されていない。電力でもモニタリングが導入され、巡回周期が1年から3年に大幅延伸された。検査周期拡大で設備を酷使する現実も。信頼度が低下し、安全なシステムを求めたい。

組織強化・拡大について

何かあれば集り議論することが重要。励ましてくれる仲間がいるからたたかえる。おかしなことは指摘できるように、団結してたたかおう。■仙台支部では、18春闘以降20名の組織拡大を実現。拡大はハラスメントの実践の力が大きく、バス職場と乗務員職場の仲間と意見交換をして学んできた。議論の場を設定し、情報を共有し組織拡大につなげていく。■脱退を考えた組合員に、理由を聞き、議論をし、脱退する必要はないという方向性を示した。脱退する人はいろいろと理由を述べるが、真正面から向き合っていくことが大事。

道路使用許可をとり、加入をよびかけるように配りを職場前で行った。若手にも積極的

主な発言内容

安全・教育・施策について

国府津運転区における懲罰的日動教育について、命の尊厳を考えた現場長、それに服従する管理者を許さず。団体交渉で会社は、日動教育を全面支持。「マインド」と言いが、原因究明になっていない。交渉翌日の集会には91名結果。物言わぬ社員つくり、脱退後援を許さず、責任追及から原因究明へたたかいを再確立していく。■国府津運転区での懲罰的日動教育は福知山線事故から何も学んでいない。宇都宮運転区でも、懲罰的日動教育が行われている。副区長から「日動運転士クラブ」(日動教育されていること)になつたにガッカリ。普通の運転士と変わらない。等々。パワハラであり人格否定である。■運転士として後輩指導と、家族の介護を考えたキャリアアップを希望していたが、事前通知2日前に駅への異動を一方通告。現場長は「通知は変わらない。家庭環境を変えられるか。遅刻とかする道は狭まる」と述べた。簡易苦情処理を出したのが対立。正々堂々とたたかい組合員の権利としての業務苦情処理の重要性を感じた。■指導担当の業務量は増えている。内容の理解度を指導もつかめなくなっている。業務消化で手一杯になっている。■指導担当が「100だと思つて」と勘測で答えるため信用されなくなつてきている。■失敗できるのが訓練センターの良いところで、不幸な乗務員を出さないための場所なのに、現場で訓練センターの失敗を叱られるというのではどうしようもないのか。■成田駅では見習いなしでの信号扱い、新花巻駅では見習いが列車扱いなど不安全な事象が続いている。本人ができると言えはやらせてしまう状況に危機感を抱く。要員不足で見習いが軽視されている。■「まっちゃん(みず)」「安全は守れない。」「まっちゃん(みず)」「安全は守れない。」「まっちゃん(みず)」「安全は守れない。」「まっちゃん(みず)」「安全は守れない。」「まっちゃん(みず)」「安全は守れない。」

経営姿勢について

管理者が、不当労働行為を捉えかねない行為をする。勤務中に個人携帯で動画を撮る。泥酔状態で職場まで帰宅。これは経営問題と同じ。■コンプライアンス教育と言われている「何言ってもいい」となり、JR東労組のチェック機能が大切であり、管理者にも指摘していかねばならない。■懲罰的日動教育は、部管理者を使つた組織破壊。上意下達でバック企業という体質に会社はなつていない。■賃金格差やマインドによる社員分断が目指されている。騙されない自分と仲間をつかめたい。おかしなことはおかしな声をあげ、たたかおう。■公募制という名の研修で「変われ、変われ」と教育され、「共有」「共有」「共有」は「共有」と意識変革されている。攻撃の構造を職場からつかみ、何が起き、何に怒り、何をしたいのか。みたくて集まり実践する。



いかなるハラスメント行為も許さず。仲間を守りたかつたこと。

発言にもありましたが、職場管理者を中心に、必要のない社員は辞めてもらって構わないというところ、ハラスメントや不当労働行為はエスカレートし、ジョブローテーションと称して強制転配を行い、自殺を考え、病気のり休職などの事象が後を絶ちません。宇都宮運転区での日動教育、盛岡運転区での強制配置転換など「責任追及から原因究明」という安全哲学に反し、ハラスメントが行われ、安全とは真逆の脱退誘導や介入などの組織破壊が行われています。

また、副長や社友会が酔っ払って寝室で寝ているなど発言がありました。会社としてこの信頼を失墜させています。私たちが事故・事象を自己申告するのは、仲間と同種事故を起こさない、仲間を守るためです。「マインド」などを精神論ばかりを並べて、偉そうに言う前に、自らの襟を正すべきです。「安全がトッププライオリティ」といいますが、ヒューマンエラーに対する究明はどうか、組合員がミスすればそれを利用して徹底的な人格否定と言った「昔年の労務管理の手法が公然と行われています。日動教育の規定性、原因究明委員会などの実践、組織としての方針を打ち出す体制の再確立などの捉え直し、初動体制を確立できる組織つくり、運動メイヤをめざしていきます。横浜地本での日動教育に関する団体交渉

2023JR総連春闘勝利に向けて

41年ぶりと言われる物価上昇の中、定昇カットにより生涯賃金や実質賃金も低下しているのが実態です。施策実施により多能化が進み、付加時間の見直しなどが行われている。一方、旅費や手当の簡素化、廃止なども行われています。改めて、労働組合の真面目な活動が問われる春闘となります。

昨年、年末手当のたたかいは総括から見えた課題の一つは「職場の努力に報いない経営姿勢」です。会社が回答で示した「基本スタンス」を崩すことができません。要求を実現するために奮闘することを前に、春闘を通じて、春闘とは、賃金と、労働者とは何なのかといった自覚をきちと取っていくことも重要な課題です。私たち労働組合の春闘を取り組む目的は、組合員の雇用と利益を守らなければならないこととです。

2023JR総連春闘の統一要求は、労働力の価値100000円物価上昇生活向上を含むこととされています。関連なく「融合と連携」などによって、私たちの

初から「できない」と決めるのではなく、行動して拡大をめざしていきましょう。不満も含めて相手を揺るがすことが大切。世話役活動は重要であり、会社とはどのような存在なのか、労働者としての声を上げるのが大事。8月に旅の青森で突然なくなった大宮支部・内田副委員長。親族がいなかったために、大宮地本が自らやると通告。ご遺体を引き取るのができ、2月に別れ会を行う。警察で「会社との調整で引き取る」に時間がかかった。「会社との調整」とは、社員証と会社のロッカルの鍵取りに行こうとした。会社は「退職金は葬儀に使えない」と冷徹な対応で、盛岡地本の仲間の協力もいたが青森市で直葬し見送ることができた。JR東労組で良かったと思える運動をつなげるためにこれからも取り組んでいこう。

承認された事項

- スローガン
- 第41回定期大会以降の経過と当面の取り組みについて
- 労働協約・協定締結について
- 2023年度暫定予算
- 委員会宣言

組合表彰

内田 良和 様(大宮地本)

ご来賓でお越しいただいた皆さま(敬称略)

JR総連 執行委員長 山口浩治
書記長 熊谷 茂 剛
労働政策・安全部長 小川 剛
JR東労組OB会 会長 奥山光昭
事務局長 森 将 実
事務局次長 遠藤政之

「新生JR東労組連動宣言」のもとに、抵抗とヒューマンリズムの精神を育み、23春闘勝利！過半数代表選挙勝利！安全哲学の再確立をめざし、あらゆる妨害に立ち向かい、JR東労組への帰属意識を高め、組織強化・拡大の実現をめざしていきましょう。

総括答弁(要旨) 書記長 加藤 誠

カール線を廃止し、ATO・ワンマン運転を導入し、「融合と連携」によって人員を減らすこと、これからの時代で稼げる新たな会社をつくり出すために一つひとつの施策やハラスメントがあるということです。利益だけを追求した安易な赤字路線の廃止は、更なる人口減少と地方の衰退を招くことからの反対です。地域住民や利用者のみならず私たちの当事者意識の醸成と納得感をつくり出し、自治体のみならず、何があっても一番いい道なのか、主体的にJR東日本と協議していきましょう。自治体の皆さんとの接点をしっかりと出し、議論していきましょう。

「新生JR東労組連動宣言」の改訂が閣議決定され、専守防衛を守り続けてきた日本の姿勢が大転換しました。JR東労組は、日本の競争力強化に断固反対します。広範な連帯・共闘の輪を広げていきます。そして、4月に行われる地方統一選挙では、推薦候補者の勝利のためにたたかいていきましょう。

「新生JR東労組連動宣言」のもとに、抵抗とヒューマンリズムの精神を育み、23春闘勝利！過半数代表選挙勝利！安全哲学の再確立をめざし、あらゆる妨害に立ち向かい、JR東労組への帰属意識を高め、組織強化・拡大の実現をめざしていきましょう。

「融合と連携」などによって、私たちの

「融合と連携」などによって、私たちの

「融合と連携」などによって、私たちの

地方ローカル線について

年々本当の怒りから23春闘のたたかいは第一歩を踏み出してきた。緊急声明を讀み合わせ、社友会の声と未加入者の声の連帯で、会社を支えようとするのが社友会である。明確にできた。▼手当減少での生活苦もあるが、本来は基本給生活できるようなにはならない。会社や社友会への低額相場への許さず。▼離職者も増加している。JRの常態は非常態と言われているが、社長は一貫して慎重と発言している、まさに非常識ではないか。▼社員代表選では社友会とJR東労組の違いを明確にする。風通しの良い職場をつくり、賃金が満足しているのか、自分の言葉で語っていこう。

地方ローカル線について

地方ローカル線について

地方ローカル線について

地方ローカル線について

地方ローカル線について

23春闘 職場代表選について

年々本当の怒りから23春闘のたたかいは第一歩を踏み出してきた。緊急声明を讀み合わせ、社友会の声と未加入者の声の連帯で、会社を支えようとするのが社友会である。明確にできた。▼手当減少での生活苦もあるが、本来は基本給生活できるようなにはならない。会社や社友会への低額相場への許さず。▼離職者も増加している。JRの常態は非常態と言われているが、社長は一貫して慎重と発言している、まさに非常識ではないか。▼社員代表選では社友会とJR東労組の違いを明確にする。風通しの良い職場をつくり、賃金が満足しているのか、自分の言葉で語っていこう。

地方ローカル線について

地方ローカル線について

地方ローカル線について

地方ローカル線について

地方ローカル線について

地方ローカル線について

年々本当の怒りから23春闘のたたかいは第一歩を踏み出してきた。緊急声明を讀み合わせ、社友会の声と未加入者の声の連帯で、会社を支えようとするのが社友会である。明確にできた。▼手当減少での生活苦もあるが、本来は基本給生活できるようなにはならない。会社や社友会への低額相場への許さず。▼離職者も増加している。JRの常態は非常態と言われているが、社長は一貫して慎重と発言している、まさに非常識ではないか。▼社員代表選では社友会とJR東労組の違いを明確にする。風通しの良い職場をつくり、賃金が満足しているのか、自分の言葉で語っていこう。

地方ローカル線について

地方ローカル線について

地方ローカル線について

地方ローカル線について

地方ローカル線について

地方ローカル線について

年々本当の怒りから23春闘のたたかいは第一歩を踏み出してきた。緊急声明を讀み合わせ、社友会の声と未加入者の声の連帯で、会社を支えようとするのが社友会である。明確にできた。▼手当減少での生活苦もあるが、本来は基本給生活できるようなにはならない。会社や社友会への低額相場への許さず。▼離職者も増加している。JRの常態は非常態と言われているが、社長は一貫して慎重と発言している、まさに非常識ではないか。▼社員代表選では社友会とJR東労組の違いを明確にする。風通しの良い職場をつくり、賃金が満足しているのか、自分の言葉で語っていこう。

地方ローカル線について

地方ローカル線について

地方ローカル線について

地方ローカル線について

地方ローカル線について

地方ローカル線について

年々本当の怒りから23春闘のたたかいは第一歩を踏み出してきた。緊急声明を讀み合わせ、社友会の声と未加入者の声の連帯で、会社を支えようとするのが社友会である。明確にできた。▼手当減少での生活苦もあるが、本来は基本給生活できるようなにはならない。会社や社友会への低額相場への許さず。▼離職者も増加している。JRの常態は非常態と言われているが、社長は一貫して慎重と発言している、まさに非常識ではないか。▼社員代表選では社友会とJR東労組の違いを明確にする。風通しの良い職場をつくり、賃金が満足しているのか、自分の言葉で語っていこう。

地方ローカル線について

地方ローカル線について

地方ローカル線について

地方ローカル線について

地方ローカル線について

地方ローカル線について

年々本当の怒りから23春闘のたたかいは第一歩を踏み出してきた。緊急声明を讀み合わせ、社友会の声と未加入者の声の連帯で、会社を支えようとするのが社友会である。明確にできた。▼手当減少での生活苦もあるが、本来は基本給生活できるようなにはならない。会社や社友会への低額相場への許さず。▼離職者も増加している。JRの常態は非常態と言われているが、社長は一貫して慎重と発言している、まさに非常識ではないか。▼社員代表選では社友会とJR東労組の違いを明確にする。風通しの良い職場をつくり、賃金が満足しているのか、自分の言葉で語っていこう。

地方ローカル線について

地方ローカル線について

地方ローカル線について

地方ローカル線について

地方ローカル線について

地方ローカル線について

年々本当の怒りから23春闘のたたかいは第一歩を踏み出してきた。緊急声明を讀み合わせ、社友会の声と未加入者の声の連帯で、会社を支えようとするのが社友会である。明確にできた。▼手当減少での生活苦もあるが、本来は基本給生活できるようなにはならない。会社や社友会への低額相場への許さず。▼離職者も増加している。JRの常態は非常態と言われているが、社長は一貫して慎重と発言している、まさに非常識ではないか。▼社員代表選では社友会とJR東労組の違いを明確にする。風通しの良い職場をつくり、賃金が満足しているのか、自分の言葉で語っていこう。

地方ローカル線について

地方ローカル線について

地方ローカル線について

地方ローカル線について

地方ローカル線について

地方ローカル線について

年々本当の怒りから23春闘のたたかいは第一歩を踏み出してきた。緊急声明を讀み合わせ、社友会の声と未加入者の声の連帯で、会社を支えようとするのが社友会である。明確にできた。▼手当減少での生活苦もあるが、本来は基本給生活できるようなにはならない。会社や社友会への低額相場への許さず。▼離職者も増加している。JRの常態は非常態と言われているが、社長は一貫して慎重と発言している、まさに非常識ではないか。▼社員代表選では社友会とJR東労組の違いを明確にする。風通しの良い職場をつくり、賃金が満足しているのか、自分の言葉で語っていこう。

地方ローカル線について

地方ローカル線について

地方ローカル線について

地方ローカル線について

地方ローカル線について

地方ローカル線について

年々本当の怒りから23春闘のたたかいは第一歩を踏み出してきた。緊急声明を讀み合わせ、社友会の声と未加入者の声の連帯で、会社を支えようとするのが社友会である。明確にできた。▼手当減少での生活苦もあるが、本来は基本給生活できるようなにはならない。会社や社友会への低額相場への許さず。▼離職者も増加している。JRの常態は非常態と言われているが、社長は一貫して慎重と発言している、まさに非常識ではないか。▼社員代表選では社友会とJR東労組の違いを明確にする。風通しの良い職場をつくり、賃金が満足しているのか、自分の言葉で語っていこう。

地方ローカル線について

地方ローカル線について

地方ローカル線について

地方ローカル線について

地方ローカル線について

地方ローカル線について

年々本当の怒りから23春闘のたたかいは第一歩を踏み出してきた。緊急声明を讀み合わせ、社友会の声と未加入者の声の連帯で、会社を支えようとするのが社友会である。明確にできた。▼手当減少での生活苦もあるが、本来は基本給生活できるようなにはならない。会社や社友会への低額相場への許さず。▼離職者も増加している。JRの常態は非常態と言われているが、社長は一貫して慎重と発言している、まさに非常識ではないか。▼社員代表選では社友会とJR東労組の違いを明確にする。風通しの良い職場をつくり、賃金が満足しているのか、自分の言葉で語っていこう。

地方ローカル線について

地方ローカル線について

地方ローカル線について

地方ローカル線について

地方ローカル線について

地方ローカル線について

年々本当の怒りから23春闘のたたかいは第一歩を踏み出してきた。緊急声明を讀み合わせ、社友会の声と未加入者の声の連帯で、会社を支えようとするのが社友会である。明確にできた。▼手当減少での生活苦もあるが、本来は基本給生活できるようなにはならない。会社や社友会への低額相場への許さず。▼離職者も増加している。JRの常態は非常態と言われているが、社長は一貫して慎重と発言している、まさに非常識ではないか。▼社員代表選では社友会とJR東労組の違いを明確にする。風通しの良い職場をつくり、賃金が満足しているのか、自分の言葉で語っていこう。

地方ローカル線について

地方ローカル線について

地方ローカル線について

地方ローカル線について

地方ローカル線について

地方ローカル線について

年々本当の怒りから23春闘のたたかいは第一歩を踏み出してきた。緊急声明を讀み合わせ、社友会の声と未加入者の声の連帯で、会社を支えようとするのが社友会である。明確にできた。▼手当減少での生活苦もあるが、本来は基本給生活できるようなにはならない。会社や社友会への低額相場への許さず。▼離職者も増加している。JRの常態は非常態と言われているが、社長は一貫して慎重と発言している、まさに非常識ではないか。▼社員代表選では社友会とJR東労組の違いを明確にする。風通しの良い職場をつくり、賃金が満足しているのか、自分の言葉で語っていこう。

地方ローカル線について

地方ローカル線について

地方ローカル線について

地方ローカル線について

地方ローカル線について

地方ローカル線について

年々本当の怒りから23春闘のたたかいは第一歩を踏み出してきた。緊急声明を讀み合わせ、社友会の声と未加入者の声の連帯で、会社を支えようとするのが社友会である。明確にできた。▼手当減少での生活苦もあるが、本来は基本給生活できるようなにはならない。会社や社友会への低額相場への許さず。▼離職者も増加している。JRの常態は非常態と言われているが、社長は一貫して慎重と発言している、まさに非常識ではないか。▼社員代表選では社友会とJR東労組の違いを明確にする。風通しの良い職場をつくり、賃金が満足しているのか、自分の言葉で語っていこう。

地方ローカル線について

地方ローカル線について

地方ローカル線について

地方ローカル線について

地方ローカル線について

地方ローカル線について

年々本当の怒りから23春闘のたたかいは第一歩を踏み出してきた。緊急声明を讀み合わせ、社友会の声と未加入者の声の連帯で、会社を支えようとするのが社友会である。明確にできた。▼手当減少での生活苦もあるが、本来は基本給生活できるようなにはならない。会社や社友会への低額相場への許さず。▼離職者も増加している。JRの常態は非常態と言われているが、社長は一貫して慎重と発言している、まさに非常識ではないか。▼社員代表選では社友会とJR東労組の違いを明確にする。風通しの良い職場をつくり、賃金が満足しているのか、自分の言葉で語っていこう。

地方ローカル線について

地方ローカル線について

地方ローカル線について

地方ローカル線について

地方ローカル線について

地方ローカル線について

年々本当の怒りから23春闘のたたかいは第一歩を踏み出してきた。緊急声明を讀み合わせ、社友会の声と未加入者の声の連帯で、会社を支えようとするのが社友会である。明確にできた。▼手当減少での生活苦もあるが、本来は基本給生活できるようなにはならない。会社や社友会への低額相場への許さず。▼離職者も増加している。JRの常態は非常態と言われているが、社長は一貫して慎重と発言している、まさに非常識ではないか。▼社員代表選では社友会とJR東労組の違いを明確にする。風通しの良い職場をつくり、賃金が満足しているのか、自分の言葉で語っていこう。

地方ローカル線について

地方ローカル線について

地方ローカル線について

地方ローカル線について

地方ローカル線について

地方ローカル線について

年々本当の怒りから23春闘のたたかいは第一歩を踏み出してきた。緊急声明を讀み合わせ、社友会の声と未加入者の声の連帯で、会社を支えようとするのが社友会である。明確にできた。▼手当減少での生活苦もあるが、本来は基本給生活できるようなにはならない。会社や社友会への低額相場への許さず。▼離職者も増加している。JRの常態は非常態と言われているが、社長は一貫して慎重と発言している、まさに非常識ではないか。▼社員代表選では社友会とJR東労組の違いを明確にする。風通しの良い職場をつくり、賃金が満足しているのか、自分の言葉で語っていこう。

地方ローカル線について

地方ローカル線について

地方ローカル線について